

実施状況報告

事業名	パネル巡回展「月のふしぎ」
実施主体名	総合科学博物館
日時	9月17日(土)～11月27日(日)
場所	総合科学博物館
参加者	24,343名

JAXAの月周回衛星「かぐや」がとらえた月や地球の美しい映像とともに、神秘的な月の姿や詳細な調査によって明らかにされた最新の月の姿などを27枚のパネルで紹介しました。



実施状況報告

事業名	企画展「永久磁石～見て！触って！学ぼう！～」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成 28 年 10 月 8 日(土)～11 月 20 日(日)
場所	総合科学博物館 企画展示室
参加者	9,701 人

愛媛県総合科学博物館において、企画展「永久磁石～見て！触って！学ぼう！～」を開催しました。永久磁石とは、外部からのエネルギーの供給を受けずに磁力を保持する磁石のことです。永久磁石の種類、素材、磁力の違い、用途について実物とともに紹介、解説しました。また、永久磁石の開発へと携わった日本人科学者を紹介しました。そして、現在世界最強であるネオジム磁石を展示し、その磁力の強さをクリップやスチール缶お玉などを近づけて来館者が実験し体験できるようにしました。

来館者は、ネオジム磁石に引っつくクリップの量とパワーに驚いていました。また、館内で製作した「ガウス加速器」「空き缶選別機」、磁石で浮上するリニアモーターカーなど磁石を使った展示物で繰り返し実験し、楽しみながら磁石について学んでいる様子が多く見られました。



実施状況報告

事業名	企画展関連イベント「磁石ワークショップ」
実施主体名	総合科学博物館
日時	「単極モーターを作ろう！」(10/8,9,10,15,16) 「くるくるマグネットステッキ」(10/22,23,29,30) 「方位磁石を作ろう！」(11/3,5,6) 「コイルトレインを作ろう」(11/12,13,19,20)
場所	総合科学博物館 企画展示室
参加者	638 人

企画展「永久磁石」の開催期間中に、磁石ワークショップ 4 種類を実施しました。

「単極モーター」は、ネオジム磁石を取り付けた乾電池の上に、銅線をのせると回転する簡単なモーターです。138 人の参加者がありました。バランスに苦労しながら調整し、やっと回ったときは喜びの声を上げていました。

「くるくるマグネットステッキ」は、磁石を取り付けたストローの上からもう一本ストローをかぶせ、そこに磁石付モチーフをのせてストローを上下するとモチーフがくるくると回る工作です。209 人の参加がありました。モチーフが回る様子が面白く、簡単な工作なので小さい子どもたちが多く参加していました。

「方位磁石」は、磁石を挟んだ発泡スチロールを水に浮かべてしばらくすると、北を向いて方角を教えてくれます。171 人の参加者がありました。参加者は、発泡スチロールに色を塗りプラスチックの尻尾をつけて魚の形にし、またアニメのキャラクターにしてオリジナルの方位磁石を作っていました。

「コイルトレイン」は、乾電池の両端にネオジム磁石を取り付けたものを、銅線をまいて作ったコイルのレールに入れて走らせる小さい電車です。120 人の参加者がありました。参加者は、磁石の向きを変えたり、コイルの反対側から入れたりして条件を変えてトレインの動きを実験しました。約1mの長さのコイルレールも用意して、参加者は自分のトレインをその中に入れて長く走る様子を観察して喜んでいました。

